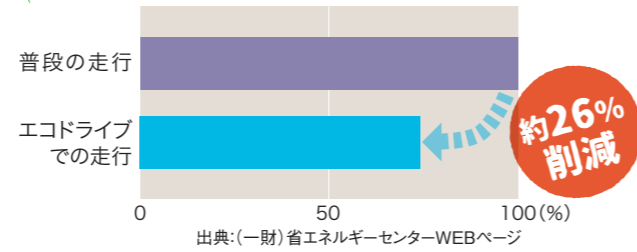


# エコドライブでいこう

エコドライブをすると、燃費は約26%も向上。  
ガソリンで走るクルマも、電気で走るエコカーも、  
エコドライブで行きましょう。

エコドライブによる平均的な燃費向上効果



## やさしい発進で ゆったり行こう

最初の5秒で時速20kmを目安に発進すると、燃費は10%程度改善されます。やさしい発進はエコで安全です。

燃費 10%程度 UP

## エアコン控えめで エコドライブ

外気温が25°Cでエアコンを使った場合、燃費は12%も悪化します。エアコン、特に冷房は控えめに。

燃費 12% UP

## タイヤの空気圧を チェックしよう

空気圧が適正値から0.5kg/cm<sup>2</sup>不足すると、2~4%の燃費悪化につながります。安全のためにも、空気圧は適正値に保ちましょう。

燃費 2~4% UP

## 車間距離を取って 定速走行

加速や減速を繰り返すと、2~6%燃費が悪化します。車間距離を取って、できるだけ定速で運転しましょう。

燃費 2~6% UP

## 不要な アイドリングはやめましょう

10分間のアイドリングをすると、約130ccの燃料を使います。待ち合わせや荷物の積み降ろしの際には、不要なアイドリングはやめましょう。

燃費 3% UP

## トランクから 荷物を下ろそう

100kgの荷物を乗せて走ると、燃費は3%悪化します。使わない荷物の乗せっぱなしは止めましょう。

## 早めの アクセルオフで 燃費向上

エンジブレーキを使うと、燃費は2%程度向上します。先を読む運転は環境にも財布にも優しい安全な運転です。

燃費 2%程度 UP

## 渋滞を避け 余裕をもって 行こう

1時間のドライブで、道に迷って10分間余計に走行すると、17%程度の燃費悪化に相当します。カーナビや地図を活用して、道に迷わず、渋滞を避けて、快適なエコドライブを。

燃費 17%程度 UP

## 自分の燃費を 把握しよう

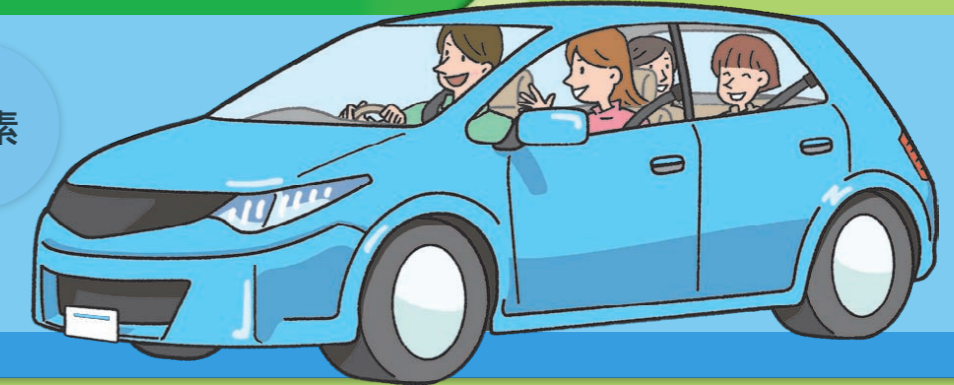
自分の車の燃費を把握することを習慣にしましょう。日々の燃費を把握すると、自分のエコドライブ効果が実感できます。

# エコカー にしよう

Let's Drive Ecological Cars

FCV

水素



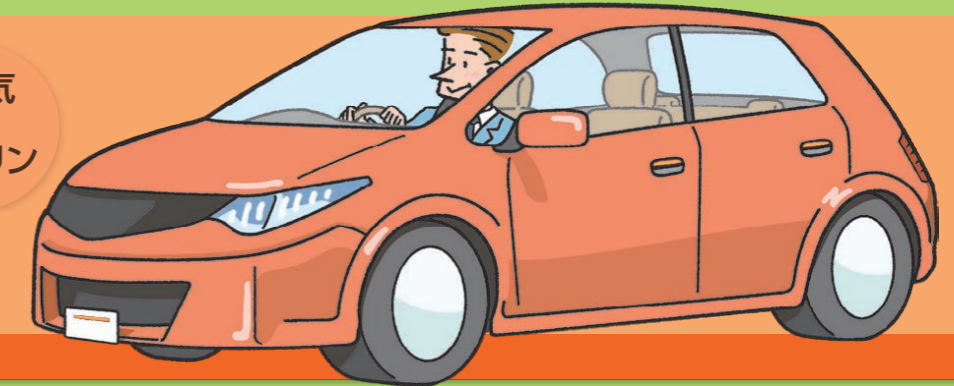
EV

電気



PHV

電気 + ガソリン



お問い合わせ先

愛知県 環境部 大気環境課 地球温暖化対策室  
TEL ● 052-954-6217 (ダイヤルイン) FAX ● 052-955-2029



# エコカーにしよう

あなたのクルマを、〈エコで、お得で、安心な〉エコカーに替えましょう。  
ガソリンなどを使う従来の自動車に比べ、家庭で充電できる電気自動車(EV)やプラグインハイブリッド自動車(PHV)、さらに水素で走る燃料電池自動車(FCV)といったエコカーが次々と生まれています。エコカーは環境に優しいだけでなく、燃費が良い、災害時には電源となるなど様々なメリットがあり、自動車税の課税免除や導入補助制度などの優遇もあります。

日本一多い  
愛知の  
クルマ

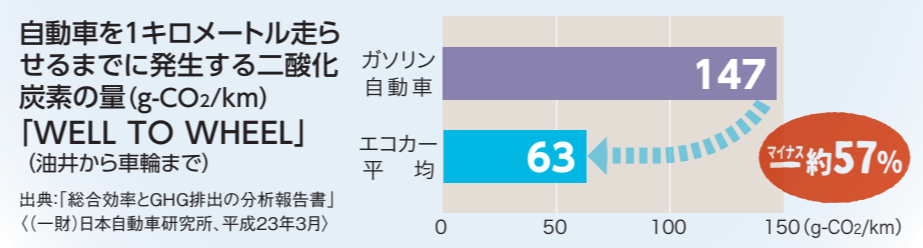
日本全国には8,030万台もの自動車があり、愛知県には全国一位の510万台の自動車があります。また、愛知県は、東京都や大阪府と比べ、交通手段として自家用車への依存度が非常に高く、一般国道における混雑時の平均速度は全国平均より低い状況となっています。つまり、愛知県は、地球温暖化をもたらす二酸化炭素など、自動車による環境への負荷が大きい地域となっています。

## ECOLOGY

### エコカーは走行中の二酸化炭素0

エコカーは、走行中の二酸化炭素などの排出ガスがなく、音も静か。ですから、都会や幹線道路沿いの生活環境への影響を大きく改善することができます。  
電気やガソリンを作り出す過程で発生する全ての二酸化炭素を含めても、エコカーはガソリン自動車と比べて半分以上しか排出しません。  
エコカーの普及は地球温暖化を防ぐ上でも大変重要なのです。

※FCV・EV・PHV (EV走行時のみ)の場合

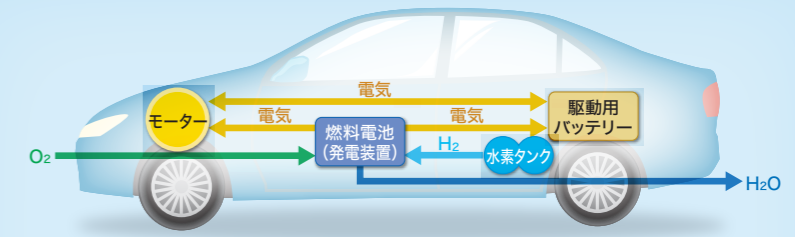


## PHV Plug-in Hybrid Vehicle プラグインハイブリッド自動車



PHVは、ガソリンエンジン走行中に充電して、バッテリーによる電動走行ができるハイブリッド自動車を、家庭用電源で充電できるようにした自動車です。家庭用電源から充電できるために、ハイブリッド自動車に比べて燃費が良く、二酸化炭素などの排出も少なくなります。「WELL TO WHEEL」で比較すると、HV走行時でもガソリン自動車の約3分の2、EV走行時には約3分の1しか二酸化炭素を排出しません。充電がなくなってもガソリンで走行できるので、充電場所や時間を気にせず、遠距離でも安心して出かけることができます。

## FCV Fuel Cell Vehicle 燃料電池自動車



FCVは、水素と酸素を化学反応させて電気を作る「燃料電池」を搭載し、モーターで走行する自動車です。電気で走りますので、走行中は二酸化炭素などの排出は全くありません。現在は、天然ガスから水素を作っていますので、「WELL TO WHEEL」で比較すると、ガソリン自動車の約半分の二酸化炭素を排出します。再生可能エネルギーを使って水素を生産するための研究が進められており、「究極のエコカー」として期待されています。

## ECONOMY

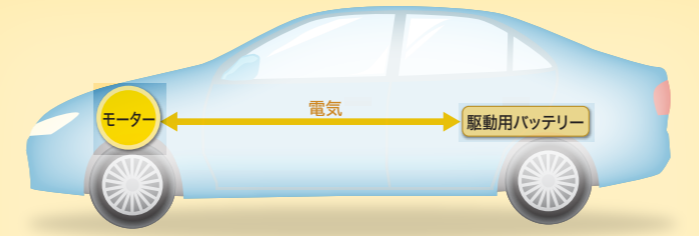
### エコカーは燃費が良い

エネルギーを効率的に使うことができるエコカーは、当然、燃費も良くなります。また、EV・PHVなら、安価な夜間電力で充電して、昼間はバッテリーを電源にして家庭の電気をまかなうこともできます。自動車税の減免や補助金等の優遇も受けて、賢く使いましょう。エコカーには、使用するエネルギーの種類によって、航続距離や充電・充填に必要な時間や方法にも違いがあります。どのような場所で、どのように使うかも考えて選んでください。

	燃費※1	補給時間	県内の補給場所※2
FCV	6.6円/km	3分	水素ステーション 13基 (整備中を含む)
EV	1.42円/km	8時間※3	充電インフラ 1,024基
PHV	2.24円/km (EV走行) 4.75円/km (HV走行)	〈充電〉90分※3 〈ガソリン〉3分	充電インフラ 1,024基 ガソリンスタンド 1,618ヶ所
ガソリン自動車	11.71円/km	3分	ガソリンスタンド 1,618ヶ所

※1 FCV:1,000円×4.3kg/650km EV:13.45円(中部電力定深夜電力B)×24kWh/228km PHV (EV走行):13.45円(中部電力定深夜電力B)×4.4kWh/26.4km PHV (HV走行):150円/31.6km (HV燃料消費率) ガソリン自動車:150円/12.8km (同クラスのガソリン乗用車の燃費平均値)  
※2 水素ステーション:平成27年2月末現在 充電インフラ:平成26年12月末現在 ガソリンスタンド:平成26年3月末現在  
※3 普通充電器を利用した場合

## EV Electric Vehicle 電気自動車



EVは、住宅や充電ステーションで充電して、電気だけで走行する自動車です。走行時には二酸化炭素などの排出は全くありません。また、発電所で効率よく発電した電力を使用することで、「WELL TO WHEEL」で比較して、ガソリン自動車の約3分の1程度の二酸化炭素しか排出しません。充電が切れると走れなくなるので、出かける前に充電場所や所要時間を計画しておくといいでしょう。

## EMERGENCY

### エコカーがあると災害時も安心

エコカーのうちFCV・EV・PHVは、車内の電気を数日間(車種により異なる)、外部へ給電することができます。このため、災害時に停電した場合、自立電源を確保することができます。

